



発行 一般社団法人 日本品質管理学会
 東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内
 電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507
 ホームページ:www.jsqc.org/

CONTENTS

- 1-トピックス 50周年事業基金の設置について
- 2-私の提言 学会に参加して得られるもの
- 2-ルポルタージュ 第418回事業所見学会ルポ
- 3-第49年度事業計画/2019年9月の入会者紹介/研究助成募集のお知らせ/論文募集
- 4-行事案内/事務局からのお知らせ/第49年度役員体制役割分担

50周年事業基金の設置について

理事・庶務委員会委員 新倉 健一

1. 30周年事業の成果と課題

JSQCが30周年を迎えた1990年代後半は、バブル崩壊後の経済停滞に加えて、様々な分野で品質問題が続発し、品質立国日本の信頼が揺らいでいました。そこで、強い危機感をもとに質を重視した活動を復活するべく、30周年事業では表1.の企画を実行しました。

表1. 30周年事業の概要

No.	事業名
1	記念誌『あゆみ』の発刊
2	記念シンポジウムの開催
3	会員サービス向上施策の実施
4	研究助成活動の推進
5	QC相談室の設置
6	品質管理推進功労賞の設置/表彰
7	ISO9000登録審査員向けQC集中セミナーの開催

そして、表1.の事業を展開するために「30周年事業基金」を開設し、幅広くご協力をお願い申し上げましたところ、多大なご支援を賜り、この機に立ち上げた表彰、助成などを一過性に終わらせることなく中長期的に推進することを目的として「記念事業積立資産」を設置し、現在も運用を継続しております。

30周年事業の成果として、まずは「表彰・助成の定着」が挙げられます。品質管理推進功労賞は、能力ある優れた人材を発掘するとともに、より一層の活躍を促進する機会として重要な役割を果たしております。同様に研究助成制度は、若手研究者、留学生の研究活動支援に貢献しております。また、「会員サービス」においては、30周年を機にJSQCウェブサイトを刷新しました。

2. 30周年以降の新たな用途

2001年12月に30周年事業の今後の展開について検討の結果、新たな用途として「国際交流事業」が加わりました。具体的には、ANQ (Asian Network for Quality) 国際会議への参加促進対策などが挙げられ、用途を明確にするために「国際研究交流積立資産」として計上しております。

また、2007年に「安全・安心社会技術連携特別委員会」、2010年には「TQE (Total Quality Education) 特別委員会」を発足するとともに、TQEの一環として「統計グラフ全国コンクール」において「日本品質管理学会賞」を設置するなど、より幅の広い、社会課題の解決に向けた活動を展開し、これらの行事参加費を除く運営経費に積立資産の一部を充当しております。

3. 積立資産確保に向けての課題

以上のように、JSQCが果たすべきミッションを遂行する上で積立資産が貢献してまいりましたが、近い将来、その存続が困難となる局面を迎えようとしています。その主たる理由が「会員数減少に伴う収入の減少」です。30周年以降は、定期的な積立によって、積立資産は一定の規模を保持しておりましたが、会員減少傾向に歯止めがかからず、新たな積立が困難な状況に直面しています。ゆえに、JSQCのミッションを将来にわたって遂行するための資金確保に留まることなく、会員増に転じるための強化、活性化プランを打ち出すことが求められております。

また、現在の積立資産の残高は、現行の用途先の当面の運用資金を視

野に入れたものであり、ウェブサイトの機能向上などの新たな投資は資金の枯渇を招くリスクが伴うがゆえに踏み切れず、時間の経過とともに対応の遅れが顕在化しつつあります。

4. 50周年事業基金の目的および用途

上述の課題を抱えながら、JSQCは2020年10月に50年度を迎えます。そこで、50周年を機に、安定的な事業基盤を確保するとともに、将来に向けたさらなる成長への原資として「50周年事業基金」を募る運びとなりました。現時点で、50周年事業基金は、表2.の用途を予定しております。記念行事関連への出費は必要最低限として、「研究・普及活動の活性化」および「学会運営機能の向上」に重点を置きます。

表2. 50周年事業基金の概要

目的	用途
価値の共有・伝承	記念シンポジウム
	記念誌
研究・普及活動活性化	研究助成の継続・強化
	各賞の継続
学会運営機能向上	会員システム機能向上
	行事システム機能向上
	ウェブサイト機能向上
	論文誌・学会誌の機能向上

用途の詳細、およびご寄付の手続きにつきましては、学会誌『品質』、およびJSQCウェブサイトに掲載致します。

会員の皆様におかれましては、JSQCの将来にわたる安定的な事業基盤確保、そして持続的な成長を目的とする50周年事業基金の趣旨につきましてご賢察の上、より一層のご支援を賜りたく、ご検討の程宜しくお願い申し上げます。

● 私の提言 ●

学会に参加して得られるもの

ITコーディネータ 茨木 陽介



皆さん！
仕事や研究活動、お疲れ様です。今日は皆さんに会費の元を取っていただきたく、「提言」

します。率直に言って、学会誌を受け取っているだけでは非常にもったいない。日本品質管理学会は産業界の会員が多く所属しています。自動車・電気機器・医療・ITをはじめとした、あらゆる業種。そして、大学の先生方。若手もベテランも居る。これほど多様な会員構成の学会を私は他に知りません！これが学会の一番の財産であり、強みであると私は思います。これを活用しない手は

ありません。学会には研究部会やバラエティ豊かな行事があり、会員が集まる「場」になっています。品質管理のあらゆる事を活発に議論しています。

個人的な話ですが、私は約10年前システム開発の最前線で働いており、1日33時間勤務のこともありました。(9時出社⇒18時終業後データセンターで夜間作業⇒翌朝、作業終了後そのまま9時から18時まで勤務)もうダメだと感じ、学会に入会しソフトウェア部会の門を叩きました。IT各社のベテランの技術者と大学の先生が、各自のノウハウを形式知にしようと、部会で議論を重ねていました。当時の私には難しい内容でしたが、聞いているだけで、知識の引き出しが一気に増えました。次第に私も「質問」という形で議論に参加し仕事のやり方を相談するよ

うになりました。すると、大量の答えが返ってきました。自分が考えつかないアイデアや視点に溢れていて、これが実務に非常に役立ちました。仕事で難しい案件に出くわしても「なんとかなるな」と思えるようになりました。

その後、事業委員として引っ張られ、講演会・クオリティトーク・事業所見学会の手伝いを始めました。それまで学会行事は「難しそう」と思って躊躇っていましたが、いざ参加すると、そんなに難しくなかった。違う業種の品質管理の話や見学会の現場は発見が多く、仕事のヒントになりました。

だから皆さんも、仕事の困りごとを持って、部会や行事に気軽に来てほしい。ノウハウを形式知にする話がありましたが、質問や相談をすると知識を引き出せるので議論を活性化できます。大歓迎なのです。独学で100万円分の本を読み漁っても得られない視点や気づきが得られます。皆さん！絶対に元をとってくださいね。

第418回 事業所見学会 ルポ

積水ハウス(株)東北工場

2019年9月5日(木)に積水ハウス(株)東北工場にて住まいの「工業化」を進化し続けて行く東日本の生産拠点を見学しました。

住宅メーカーとして、人間性豊かな住まいと環境の創造、最高の品質と技術でお客様の要望を大切に、夢を与える「夢工場」の実現を展開しております。最初に企業概要、ものづくりの考え方、品質保証体制について説明いただき、その後、「鉄工場：鉄骨部材製造工程」と「ベルバーン工場：陶版外壁ベルバーン製造工程」を見学させていただきました。

1960年頃に住宅の建築ラッシュとなり、積水ハウス(株)東北工場も1997年8月に操業を開始し、一戸建て住宅建設を初め住宅のリフォーム事業、更に商業施設の開発とお客様が長年にわたり生活を共にする居住地に「お客様の好みに合わせた仕様で設計」、更に「東日本大震災」の教訓から災害時の復旧拠点として防災未来工場化を推進しております。

品質保証体制においても、構内協力企業各社様と工場が一体となり改善活動を展開するなど、情報を共有

しあい徹底した品質管理のもと、一棟一棟「邸別受注生産体制」を実現されております。

その後、鉄骨部材製造工程、陶版外壁ベルバーン製造工程の作業工程を見学させていただきました。鉄骨部材製造工程は、お客様の建築要望を聞き取り、原材料を仕様に合わせて指定寸法部材に裁断、穴明け加工、溶接を行い、表面処理と、お客様のもとに納期に合わせて配送されるようになっています。

原材料の搬入から加工、検査、出荷に至る迄設備(装置)と人が融合した物づくりをされていると共に、物づくりのコンセプトを「職方さんの負担を軽減」とし作業者に負担にならない作業の実現が出来ている姿が伺えました。

次に、ベルバーン外壁製造工程に入り、住宅の外壁もお客様の好みの外壁により仕様も異なり自然素材等を配合し、成形、乾燥させて高温で焼成、処理と一貫した流れで、品質検査も三次元センサーカメラ等により一邸毎の寸法、色調を作り上げています。

鉄骨部材、ベルバーンとも、設備を常に正常に稼働させる為の予防保全活動を実践し、「作業者にやさしい会社」が伺えました。

最後に、積水ハウス(株)東北工場の皆様にはご多忙の所、充実した見学内容と丁寧な説明をご提供いただきました事、この場をお借りし御礼申し上げます。

我妻 信義 (QCサークル宮城地区)

一般社団法人 日本品質管理学会 第49年度事業計画

会 合 / 月	2019 10月	11月	12月	2020 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
年次大会・通常総会		第49回年次大会 (早稲田大) 23日(土祝)												○ 中部地区
研究発表会	本 部							23日(土)						
	中 部									○				
	関 西											○		
講 演 会	東日本・中部・ 関西・西日本			第139回 東日本 12月5日(木)					中部	関西				
講 習 会	標準委員会	JSQC規格 新製品・新サー ビス開発管理 28日(月)		JSQC規格 日常管理 20日(金) 福岡				JSQC規格 品質管理教育 9日(月)						
シンポジウム	東日本・中部・ 関西								第169回 東日本 21日(木)	中部		関西		
クオリティーク	東 日 本		第115回 14日(木) 山田氏		第116回 27日(月) 小久保氏		第117回 2日(月) 小原氏		○		○		○	
事業所見学会 (案)	東 日 本	第420回 ライオン小田原 24日(木)			第422回 コマツ茨城 30日(木)			第423回						
	西 日 本			第419回 TOTO 19日(木)										
	中 部						○			○				
	関 西			第421回 オリエンタル 5日(木)					○					
QCサロン(関西)	15日(火)				○		○		○		○		○	
その他の行事	ANQ2019 バンコク 23-25												ANQ2020 ソウル 19-23	
理 事 会		454回5日(火) 455回23日(土祝)	456回 16日(月)	457回 21日(火)		458回 17日(火)		○		○		○		○
庶 務 委 員 会	29日(火)		9日(月)	7日(火)		9日(月)		○		○		○	○	
学術委員会 論文誌編集	10日(木)	18日(月)	10日(火)	24日(金)	21日(金)	16日(月)	16日(木)	18日(月)	15日(月)	16日(木)	—	3日(木)	15日(木)	16日(月)

※論文投稿は委員会の開催10日前までをお願いいたします。直前の投稿では審査開始が遅れることがあります。

2019年9月の 入会者紹介

2019年9月17日の理事会において、下記の通り正会員12名、準会員2名、職域会員3名、賛助会員1社1口の入会が承認されました。

(正会員12名) ○平山 修士・堀田 信(紀伊産業) ○國遠 正章(東久) ○碓井 政輝(マブチモーター) ○櫻井 康雄(トヨタ紡織) ○加藤 重正(鳩

山カントリークラブ) ○久保 達也(テイケイ気化器) ○高宮 秀毅(出光興産) ○浅沼 龍一(竹中工務店) ○原口 聡(丸紅情報システムズ) ○清水 健嗣(CIJ) ○樋口 和宏(デンソー)
(準会員2名) ○NURSUHANA BINTI ALAUDDIN(慶應義塾大学) ○古謝 景太(東京工業大学)
(職域会員3名) ○小松 将也(レヂテック) ○新井 啓太(ダイヤモンドカ

ルネット) ○山田 隆一(槌屋)

(賛助会員1社1口) ○マツダ

名誉会員：23名

正 会 員：1809名

準 会 員：87名

職域会員：51名

賛助会員：143社185口

賛助職域会員：7名

公共会員：18口

事務局からのお知らせ

第49年度研究助成募集要項

趣 旨：21世紀を担う若手研究者や海外からの留学生に対し、その研究活動をサポートすることを目的とします。個人の研究への助成はもちろん、同じようなテーマを抱えた少数の若手研究者の研究集会への助成、海外の若手研究者の招聘への助成なども含みます。

助成金額：1件5万円 5件以内

期 間：1年間(第49年度：2019年10月から2020年9月)

募集期間：2019年12月～2020年3月末日

詳 細：<http://www.jsqc.org/ja/oshirase/jimukyokukara.html>

「品質」誌、投稿論文の募集!

会員の方々からの積極的な投稿をお勧めします。投稿区分は、報文、技術ノート、調査研究論文、応用研究論文、投稿論説、研究速報論文、クオリティレポート、レター、QCサロンです。

論文誌編集委員会

行事案内

●JSQC規格「日常管理の指針」講習会
(西日本・福岡)

テーマ：日常管理の本質を学ぶ

日時：2019年12月20日(金)13:15~16:50

会場：リファレンス駅東ビル 2階会議室 T

定員：30名

講師：中條 武志氏 (中央大学)

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h311220>

●第116回クオリティトーク (東日本)

テーマ：リアル事例で学ぶ失敗しない

商品企画-P7、Neo P7の実践法-

ゲスト：小久保 雄介氏 (成城大学)

日時：2020年1月27日(月)18:30~20:30

会場：日科技連 東高円寺ビル 3階研修室A

定員：30名

申込先：本部事務局

詳細：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020127>

●第422回事業所見学会 (東日本・茨城)

テーマ：コマツの底力に学ぶーコマツ茨城工場は確かな品質と人に優しい環境を次の世代へ伝えますー

日時：2020年1月30日(木)13:00~17:00

見学先：(株)小松製作所 茨城工場

定員：20名

※同業他社のお申し込みはご遠慮ください。

申込先：本部事務局

詳細：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020130>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020309>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h311220>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020302>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020127>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020130>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020309>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h311220>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020302>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020127>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020130>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020309>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h311220>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020302>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020127>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020130>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020309>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#h311220>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020302>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020127>

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020130>

●第117回クオリティトーク (東日本)

テーマ：戦略としてのクオリティマネジメント

ーこれからの時代の“品質”ー

ゲスト：小原 好一氏 (前田建設工業)

日時：2020年3月2日(月)18:30~20:30

会場：日科技連 東高円寺ビル 3階研修室A

定員：30名

申込先：本部事務局

詳細：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020302>

●JSQC規格「品質管理教育の指針」講習会
(東日本)

テーマ：TQMの実践に必要な人材を育てる

日時：2020年3月9日(月)13:00~17:30

会場：日科技連 東高円寺ビル 地下2階研修室

定員：50名

プログラム：

1. JSQC規格「品質管理教育の指針」
制定のねらい

2. 品質管理教育の基本

3. 品質管理教育の計画

4. 研修プログラムの運営

5. 品質管理教育の評価・改善 ほか

詳細・申込：<http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#r020309>

行事申込先

JSQCホームページ：www.jsqc.org/

本部：E-mail：apply@jsqc.org

中部支部：E-mail：nagoya51@jsa.or.jp

関西支部：E-mail：kansai@jsqc.org

第49年度役員体制決まる

会長	棟近 雅彦	早稲田大学
副会長	二橋 岩雄	トヨタ自動車
〃	永田 靖	早稲田大学
理事	安随 正巳	日本科学技術連盟
〃	伊藤 誠	筑波大学
〃	茨木 陽介	ITコーディネータ
〃	川村 大伸	名古屋工業大学
〃	金子 雅明	東海大学
〃	斉藤 忠	岡谷電機産業
〃	佐野 雅隆	千葉工業大学
〃	鈴木 知道	東京理科大学
〃	鈴木 秀男	慶應義塾大学
〃	永井 義満	明治大学
〃	長坂 康史	広島工業大学
〃	鯨谷 佳和	村田製作所
〃	新倉 健一	前田建設工業
〃	西 敏明	岡山商科大学
〃	平林 良人	テクノファ
〃	古谷 健夫	クオリティ・クリエイション
〃	森田 浩	大阪大学
〃	安井 清一	東京理科大学
〃	山本 涉	電気通信大学
〃	横田 博史	愛知製鋼
〃	吉川 勝也	日本規格協会ソリューションズ
〃	渡辺 喜道	山梨大学
監事	新木 純	積水化学工業
〃	末岡 徹	キタック
〃	光藤 義郎	文化学園大学
顧問	大久保尚武	積水化学工業
〃	小原 好一	前田建設工業
〃	椿 広計	統計数理研究所

第49年度役員役割分担表

総合企画	○棟近 二橋 永田 金子 平林 渡辺
JAQ設立準備	○新木 永田 安随 吉川
庶務	○金子 古谷 新倉
庶務、選挙管理	○金子 古谷 鈴木(知)
会員サービス	○永井(義)
規定	○吉川
会計	○安随
品質管理推進功労賞	○棟近 二橋 永田
公益化特別	○新倉 安随 鈴木(秀)
活動	○棟近 安井 鈴木(秀)
事業・広報	○斉藤 鈴木(知) 茨木
研究開発	○鈴木(秀)
学会誌編集	○伊藤
JSQC選書特別	○[飯塚(悦)]
QC相談室特別	○森田
東日本支部	○永田
中部支部	○[仁科] 川村 古谷 横田
関西支部	○鯨谷 森田
西日本支部	○長坂 西
サービスエクセレンス部会/ 生産革新部会	○安井 ○[水流]
医療の質・安全部会	○棟近
ソフトウェア部会	○[兼子]
管理技術部会	○金子 平林 [福丸]
標準	○平林
学術	○渡辺
論文誌編集	○渡辺 佐野 安井
Total Quality Science 編集	○[黒木] 安井
最優秀論文賞/研究奨励賞	○永田 渡辺
品質技術賞	○二橋 伊藤
研究助成特別	○川村
学会間交流	○佐野 安井
FMES・横幹	○金子 安井
国際 (ANQ)	○佐野 永田 鈴木(知)
安全・安心社会技術連携特別	○伊藤 [中條]
TQE特別委員会	○[鈴木(和)]

○委員長、支部長、部会長 [] 役員以外の方

事務局からのお知らせ

日本品質管理学会監修「JSQC選書30・31」好評発売中

●JSQC選書30 (180ページ)

書名：商品企画七つ道具

ー潜在ニーズの発掘と魅力ある新商品コンセプトの創造ー

著者：丸山 一彦

判型等：四六判、並製本

定価：1,700円(税別) → 学会員特典価格：1,360円(税別)

●JSQC選書31 (152ページ)

書名：戦略としてのクオリティマネジメント

ーこれからの時代の“品質”ー

著者：小原 好一

判型等：四六判、並製本

定価：1,600円(税別) → 学会員特典価格：1,280円(税別)

申込方法：http://www.jsqc.org/ja/kanren/jsqc_sensyo.html

※書籍は請求書を同封して日本規格協会から発送いたします。